年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（２学年用） 教科　　科目　家庭基礎

教　科：　0　　科　目：　家庭基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　9 組

教科担当者：１と２組酒井　　３と４組酒井　　（５と６組　組：　；（　７と８組：酒井（　９組：　酒井（　組：　　）

使用教科書：（ 気づく力築く未来家庭基礎　実教出版　　）

教科　家庭科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】基礎・基本的な知識と技能の習得

【思考力、判断力、表現力等】自分の日常生活に家庭科で学習したことを身につけていく

【学びに向かう力、人間性等】自己の進路に学んだことを小論や面接で書いたりいえる力を身につけていく

科目　家庭基礎　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分の日常生活について考察し、論理的科学的に実践できるか 調理実習を安全に衛生的に行えるかをみていく	ホームプロジェクトを課し夏休み中にあるいは冬	自己の生活力の表現力をみていく同時に進路に結

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	消費者として家庭経済を考える。	商品について知ると同時に金融の種類と保険について学ぶ。	課題プリントの提出と授業態度と自分の生活に関する興味と関心をみる	○	○	○	6
	住いについてと環境問題	部屋の借り方と間取りについて学ぶ。環境とSDGSの取り組みについて自分なりに考える。福祉と住まいなど	ゴールデンウイークの課題をみる。 授業中のプリント取り組みをみる。	○	○	○	6
	私たちの食生活と栄養・食品の選び方と安全	調理実習を2回行う。食品の扱いと選択するときの注意点にふれる。５大栄養の知識の習得を図る。	身支度と爪のチェックを行う。調理レポート提出、ミニテストの提出	○	○	○	8
	食文化の和食とは	日本の気候風土に適した郷土料理と環境変化における作物の変化、お箸のマナーとフランス料理の作法について	お箸やお椀を使って自分で学ぶ、フランス料理マナーが世界に広がる理由を考えるレポート、環境変化は温暖化にあるかのレポート	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2学期		食の安全と青年期の食事について考える。	実習態度と中間テストで判断する。	○	○	○	4
	２学期10月で前半後半チェンジするため、後半も同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	18
3学期	上に同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	8
	上に同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	9
						合計	64